

掛川市新型コロナウイルス等対策行動計画

令和8年3月策定

～市民の命と生活を守るために、今できる備えを～



掛川市新型インフルエンザ等対策行動計画

❖ 計画改定の経緯 ❖

● 新型インフルエンザ等の予知と阻止の困難性

- ・発生時期を正確に予知することは困難で、発生そのものを阻止することは不可能。
- ・世界中で発生した場合、本市への侵入も避けられない。

● 影響の重大性

- ・病原性が高く、まん延のおそれがある場合、市民の生命・健康、市民生活、地域経済に大きな影響を与える可能性がある。

● 医療提供体制への懸念

- ・多くの市民が長期的にり患するおそれがある。
- ・患者発生が一定期間に偏ると、医療提供体制のキャパシティを超える可能性がある。

● 対策の重要性

- ・新型インフルエンザ等対策は国、県、市の危機管理に関わる重要課題として位置付け、適切な対策を講じる必要がある。

❖ 計画のビジョン ❖

- ・感染拡大を抑え、市民の生命・健康を守り、市民生活や地域経済への影響を最小限にすることが重要。
- ・掛川市は、国や県と連携し、医療体制の整備や感染防止策を進める。
- ・感染症と社会経済活動のバランスを考慮した柔軟な対策を講じる。
- ・地域全体で協力し、事業継続計画の策定や感染対策を推進。
- ・市民が安心して暮らせる地域社会の実現を目指す。

市行動計画は、政府行動計画及び県行動計画に基づき、市内における新型インフルエンザ等対策の総合的な推進に関する事項、市が実施する措置等を定めるものです。

新型インフルエンザ等対策特別措置法(平成二十四年法第三十一号)

◆ 計画の目的及び基本戦略 ◆

DEIも基本的な事項に！

平時から感染危機への備えの整理と拡充と
感染拡大防止と社会経済活動のバランスを踏まえた対策の切替え

◆ポイント1◆

感染拡大を可能な限り抑制し、市民の生命及び健康を守る

○感染拡大の抑制とピークの遅延

流行のピークを遅らせることで、医療提供体制の整備やワクチン製造の時間を確保する。

○医療提供体制への負荷軽減

流行ピーク時の患者数を減らし、医療提供体制の負担を軽減する。

医療提供体制を強化し、患者数がキャパシティを超えないようにする。

○適切な医療の提供

治療が必要な患者が適切な医療を受けられるようにする。

適切な医療により、患者数や死亡者数を減少させる。



◆ポイント2◆

市民の生活及び地域経済に及ぼす影響が最小となるようにする

○感染拡大防止と社会経済活動のバランス

対策の切替えを円滑に行い、市民生活や社会経済活動への影響を軽減する。

○市民生活及び地域経済の安定確保

市民生活と地域経済の安定を維持する。

○地域での感染対策

感染対策を通じて欠勤者の数を減少させる。

○事業継続計画の推進

医療提供業務や市民生活・地域経済の安定に寄与する業務の維持に努める。



具体的な行動のポイント

1 平時の備えの整理や拡充
 対策の共有とその準備の推進
 事業継続計画(BCP)の策定、感染症対策物資の備蓄
 DXの推進や人材育成

2 ワクチン接種の体制
 接種対象者の推定と接種計画の策定
 医療従事者の確保と接種会場の準備
 ワクチン接種に関する情報提供と広報活動

3 健康観察と生活支援
 感染者や濃厚接触者への健康観察と必要な生活支援
 県との連携による情報共有と適切な対応
 必要な物品の支給

4 市民生活の安定
 行動制限と生活関連物資の供給
 高齢者や障がい者等の要支援者への生活支援
 火葬体制の構築と遺体安置所の準備

新型インフルエンザや新型コロナウイルス感染症だけでなく、その他の呼吸器感染症も対象として、対策を「準備期」「初動期」「対応期」の3段階に分けて行動します。

特に準備期と初動期の取り組みを強化！

準備期 (発生前の段階)

感染症対策物資の備蓄、ワクチン接種体制の整備、情報共有体制の構築、訓練の実施など、有事に備えた準備を進めます。

初動期 (新型インフルエンザ等が発生した段階)

感染症発生時には迅速な対応を行い、感染拡大防止のための行動制限や社会活動の調整を実施します。また、ワクチン接種を開始し、医療体制を拡充します。

対応期 (感染拡大:感染が拡大し対応する時期)(感染収束:流行状況が収束する時期)

感染拡大の状況に応じて柔軟に対応し、ワクチン接種の拡大や健康被害の救済制度を運用します。市民生活や地域経済の安定化を図るための支援を行います。

対策の基本項目

実施体制

行動計画の管理、訓練の実施、BCP策定

感染対策への移行管理、診療体制の確保、

感染対策指揮系統の確保、診療・検査体制の確保、応援体制の構築

情報提供・共有、リスクコミュニケーション

感染症対策マニュアルの作成、情報連携の推進、感染症防止策周知、相談体制の検討

相談窓口設置、感染症等情報の周知、情報連携

情報連携、相談窓口対応、感染症等情報の周知

まん延防止

感染症対策、対策力の強化、検査体制、搬送体制等の検討

感染防止策、社会活動の制限実施、診療体制の拡充

社会活動の制限実施、診療体制の確保

ワクチン

特定接種体制の検討

ワクチン接種体制の確保・実施

ワクチン接種の実施

保健

保健支援の準備

保健支援の実施

保健支援の実施

物資

物資確保

物資確保・活用

物資確保・活用、生活物資支援

住民の生活及び地域経済の安定の確保

要支援者等対応、ライフラインの維持、遺体収容火葬等の検討

感染対策の実施、物資活用、要支援者等支援、火葬確保、ライフライン維持

健康被害相談の実施、感染対策の実施、物資活用、要支援者等支援、火葬確保、ライフライン維持



期別・課別シートでそれぞれの行動を可視化！

◆ 基本的な考え方 ◆

新型コロナウイルス感染症(Covid19)対応の経験を反映！



柔軟な対応

感染症の発生段階や状況の変化に応じて迅速かつ適切に対応し、科学的知見に基づいた対策を実施します。

地域性を考慮した対策

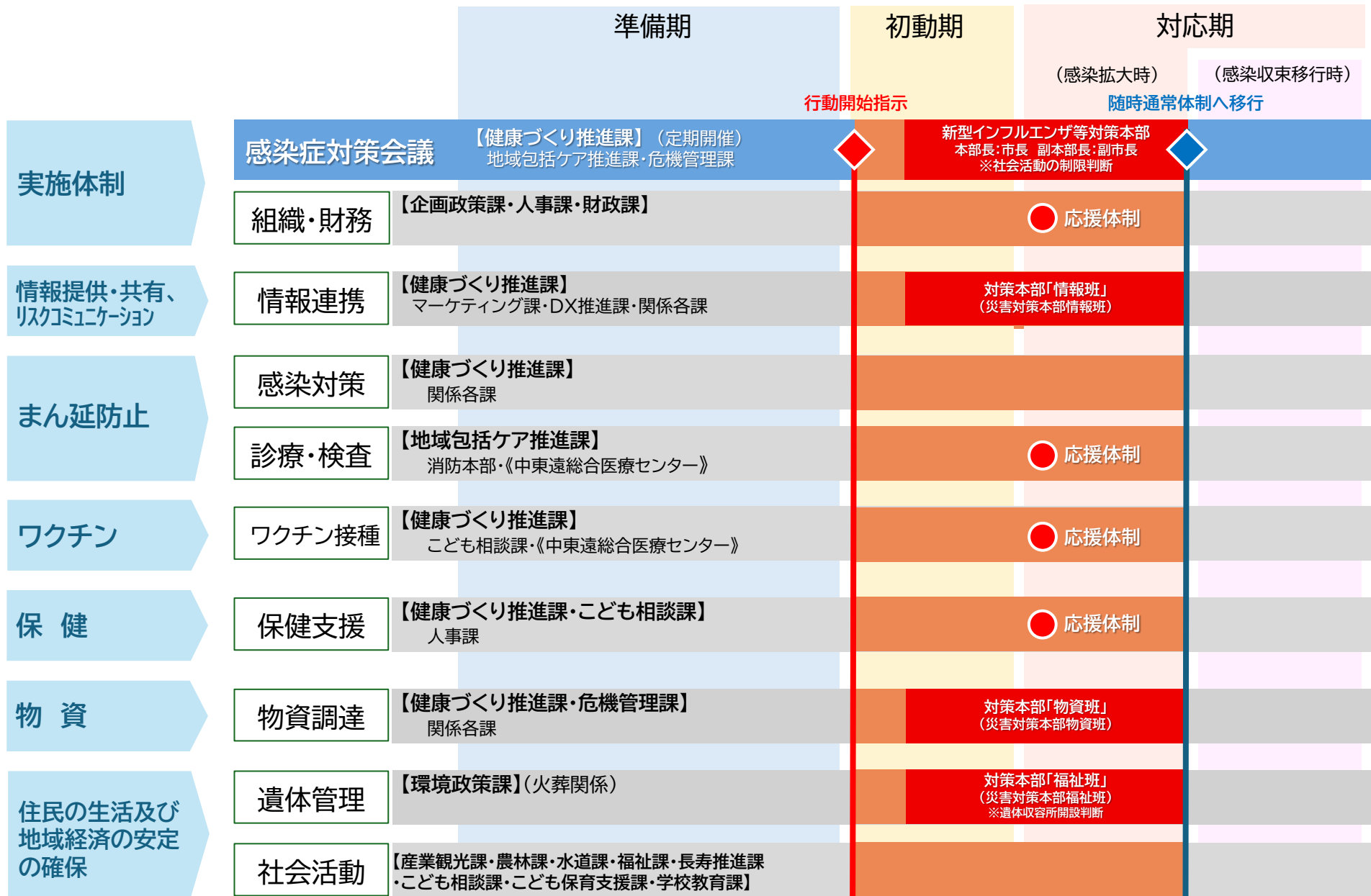
掛川市の地理的条件や人口構成を踏まえ、地域医療機関や関係団体と連携し、地域に即した対策を進めます。

社会全体での協力

市民、事業者、行政が一体となり感染症対策を推進するとともに、個人レベルでの感染予防行動の促進を図ります。



掛川市新型インフルエンザ等対策行動計画 組織図・行動フロー図



※行動詳細は行動期別シート、担当課別シートを参照